

【あいちの子育て・教育・文化動向】

大橋 基博 編

(研究部長)

◆1月

- 12日 中川署、6歳の長女を全裸でベランダに放置したとして母親を逮捕。
- 24日 岡崎学園の教職員組合などが、松山市の学校法人との合併に反対する署名を理事長に提出。
- 27日 幸田町の小学校の職員室が放火された事件で、同校の教諭が放火の疑いで再逮捕。
- 28日 2013年度第2回愛知県義務教育問題研究協議会開催。「若手教員の育成を図る研修の在り方―中間報告書―」(案)について協議。
- 28日 県、新年度予算案で放課後児童クラブ18カ所新設を補助。(中日)
- 29日 県公立高校入学者選抜方法協議会議、現行の学力検査の時間や配点、推薦入試の方法を見直す意見をまとめ、教育長に報告。
- 31日 県弁護士会メンバーでつくる「子どもの権利委員会」は4月から、県内の小中学校で「いじめ防止出張授業」を開く。(中日)

◆2月

- 1日 田原市、市内全域での小中学校の統合再編の動きが本格化。(朝日)
- 3日 中部経済連合会「日本のものづくりの競争力再生と産業構造転換の促進」と題する提言書を発表。その中で、学校教育の内容と方法の改革を求めた。
- 4日 県立刈谷工業高校2年の野球部員が自殺した問題で、県の第三者調査委員会が最終報告書を公表。
- 5日 県、2014年度、大府市内で新たな知的障害特別支援学校の整備に着手し、18年度の開校を目指す方針を固めた。(中日)
- 5日 県警本部と県教委、「学校警察連携制度」に関する実施要領により協定を締結。
- 5日 県教委、幸田町の小学校に放火した教諭を懲戒免職処分。
- 5日 刈谷市教委、2013年12月に小麦粉入り豆腐ハンバーグの給食で2児がアレルギー症状を起こし、病院に搬送されたと発表。
- 5日 名古屋市教委、「各学校における『いじめ防止基本方針』の提出について」を各学校長に依頼。別紙で例を示す。
- 6日 第7回教育懇談会開催。「学校教育におけるグローバル人材育成のあり方について」論議。
- 6日 県、2014年度の私学助成金の総額を対前年度比1.8%増となる593億4千万円とする方針を固めた。(中日)
- 7日 安城市、7月から市内の大学生や中学生の海外留学費用の一部を補助する制度を始める。(中日)
- 8日 安城市、子ども医療費の無料化で、4月から中学卒業時までに行っている対象年齢を高校卒業時まで拡大する。高校生の無料化は入院に限定。
- 12日 名古屋市教委、4月から「子ども応援委員会」を市内11カ所に設置。(毎日)
- 12日 名古屋市、常勤のスクールカウンセラーやソーシャルワーカーの募集を始めた。
- 13日 大府市、人間環境大学が新設する看護学部を誘致すると発表。
- 13日 みよし市、市内の全中学校の全教室にエアコンを設置する予算案を発表。

13日 名古屋地裁、名古屋女子大学の教組委員長の元教授に対する解雇処分は無効だとする判決。

14日 全国の公立中学・高校の定期テストの問題と解答がインターネットサイトで販売されていることが分かった。名古屋市の学習塾経営者が、情報公開制度を使って入手した。(朝日)

21日 河村名古屋市長、「なごや子ども応援委員会」の財政支援などを求める要望書を下村文科省に渡す。

21日 東三河の公立高校全26校が、スマートフォンを持つ生徒・保護者向けの利用指針を作った。(中日)

22日 名古屋外国語大学の現代国際学部国際ビジネス学科長が他大学の教授の論文を盗用していたことが分かった。

24日 県立高校の教諭が死亡したのは過労が原因として、父親が地方公務員災害補償基金を相手に公務外認定の処分取り消しを求める訴えを起こした。

26日 知多署、知多市と学校警察連携制度に関する協定を調印。

◆3月

1日 あま市の子どもたちの「生活指針」「行動指針」となる「あまっ子宣言」が完成し、披露された。

1日 名進研グループの豊川代表が、2004年と05年、山口組弘道会の資金源とされる風俗店グループに計6億円融資していたことが分かった。(朝日)

3日 小牧署と小牧市教委、春日井署と春日井市教委、それぞれ、いじめ・非行防止の連携協定を結んだ。

7日 設楽町の田口高校に、4月、豊橋養護学校の分教室が開設される。1期生となるのは豊根村の2人。(中日)

8日 県、「あいちトリエンナーレ2013」の来場者アンケートの結果をまとめた。来場者の34%が県外。

10日 豊川市教委と豊川署、学校警察連携制度に関する協定を調印。

10日 西尾署と西尾市教委は児童生徒のいじめや犯罪、非行防止などを目的とした連携協定を結んだ。

10日 県立緑丘商業高校の2年の女子生徒が複数の教員から暴言や嫌がらせを受け、パニック障害を引き起こし、学校を休んでいることが分かった。

11日 県教委が2005年～12年度、122件(監督責任は除く)の教員の懲戒処分のうち、2割近い23件を公表していなかったことが分かった。いずれもわいせつ行為。

13日 名古屋外国語大は東京外国語大と授業、留学で連携する交流協定を結んだ。

14日 県に寄せられた学習塾や家庭教師に関する相談件数は2013年は前年より13件増の101件に上った。(中日)

14日 名古屋法務局の集計によると、2013年に県内で確認された教職員の児童生徒に対する体罰や暴言などの新規の人権侵害事案は112件で、過去最多。

14日 共産党県委員会、臨時教職員の年度替わりの社会保険の継続扱いを県教委に申し入れ。

15日 刈谷市の全小中学校が4月から、午後9時以降に児童生徒に携帯電話を使わせないルールを申し合わせる。(中日)

18日 大府市議会、市が誘致する看護大を設置する学校法人の不当労働行為問題で質問が相次いだ。

20日 名古屋市西区の市立中学で1年の男子生徒が転落死。

25日 県議会、「愛知県子どもを虐待から守る条例」を可決。

25日 「愛知県特別支援教育推進計画(愛知・つながりプラン)」策定。

25日 豊田市の「子ども会議」が2年間の活動でまとめた提言書を太田市長に提出。

26日 県情報公開審査会、県立高校で「世界史A」の授業なのに「世界史B」を教えていた問題に絡み、県内の男性が世界史の過去の定期試験問題を情報公開請求したところ、県教委が不開示にしたことについて、県教委の決定は不当だとして、全面開示を求める答申をした。

27日 県教委、教員の懲戒処分公表基準を新年度から見直すを発表。

29日 県文化振興事業団による県芸術劇場の舞台操作・管理業務の公募で、募集要項に定めた資格要件を欠いているとの指摘のある業者が受託していることが分かった。(中日)

31日 県、「あいちビジョン2020～日本一の元気を暮らしの豊かさに～」発表。

◆4月

1日 名古屋市、認可保育所の4月分からの入所選考にあたり、親の就労状況などに応じてランクや指数を付けて可否を判断する「点数制」の導入を始めた。(中日)

2日 教え子に体罰を加え懲戒処分を受け退職した県立豊川工業高校陸上部の元監督が4月から日体荏原高校の教員に就任し、陸上部を指導することに。豊川工の現役部員8人も荏原高校に転校。(中日)

3日 一宮市の中心部にある大志小学校区の子ども会が、従来の19団体から10団体に再編され、新たなスタートを切った。(中日)

6日 「登校拒否親の会」の活動を引く継ぐ形で、新たな会「不登校の子どもを支える会・なごや」が発足し、記念講演会を開催。

7日 名古屋市の私立南山中学校男子部で、2年の男子生徒がLINEをめぐるトラブルの後、

校舎から飛び降り重傷を負った。

8日 携帯電話等の使用にあたって、保護者との間でルールを設けていないと回答した県内の中学生が全体の62%、高校生では77%に上がることが、県教委が実施した街頭アンケートの結果で分かった。(中日)

8日 名古屋空港ビルディングと名古屋芸術大学は空港の利用促進に向けて協力する産学連携協定を調印。

10日 碧南市、保育所や幼稚園などで起きた重大事故を検証し、再発防止策を協議する「保育所等事故検証委員会」を常設した。(毎日)

22日 名古屋市、統合によって閉校になる西区の江西小学校跡地に高等特別支援学校の設置を検討すると表明。

22日 名古屋市教委、「市いじめ防止基本方針案」を市議会教育子ども委員会に示した。

22日 江南市教委、不登校やいじめなどを防ぐのを目的に、児童・生徒を対象にしたアンケートを始める。(毎日)

23日 娘の自殺のショックで適応障害と診断された名古屋経済大短大部の准教授が、病気を考慮しない異動で勤務できなかつたとして法人に未払い給与の支払いを求めた訴訟で、名古屋地裁は請求をほぼ全面的に認めた。

25日 名古屋市教委、学校での部活動などへの学生の指導者参加を積極的に進めることを柱とした協定を中京大学と結ぶと発表。→30日 締結。

28日 県、「愛知ほぷかる聖地化計画」(第4弾)を発表。名古屋造形大学と連携して「ほぷかる」を紹介するショートアニメを制作し、インターネットで配信することも盛り込んだ。

◆5月

3日 「学校事故・事件遺族連絡会(仮称)」の設立総会が開催された。

5日 県、6月下旬から、保護者らを対象にしたスマートフォンの安全な使い方を教える無料の出張教室を始める。(中日)

11日 名古屋市教委、新教育振興基本計画の作成に向け、市立の全教職員から意見を募る。(中日)

11日 「河合塾」と名古屋大学が共同で行う大学受験生向けの特別授業(計12回)が始まった。

13日 朝鮮学校への「高校無償化」適用を求めて活動している「ネットワーク愛知」が総会を開いた。

16日 県教委、同僚の女性教諭にパワハラを繰り返したとして豊田市立中学校の男性教諭を懲戒免職。

17日 4月に新設された豊田市立浄水北小学校に「学校支援地域本部」が発足した。

22日 名古屋市、「待機児童」が4月1日現在でゼロになったと発表。

22日 2004年に、東海市の県立高校で柔道の授業中にけがをしたのは教諭が適切な指導を怠ったからだとして、男性が賠償を請求していた事件で、名古屋地裁半田支部は男性の請求を棄却。

27日 第8回教育懇談会開催。「特色ある県立高等学校のあり方について」論議。

27日 2014年度第1回義務教育問題研究協議会開催。

27日 犬山署と犬山市教委・扶桑町教委、学校警察連携制度に関する協定を調印。

28日 岡崎市立竜海中学の3年の女子生徒が校舎から転落し死亡。

◆6月

2日 県、2014年度第1回愛知県子ども・子育て会議(愛知県社会福祉審議会児童福祉専門分科会)開催。「あいち はぐみんプラン」の次期計画等について審議。

2日 文科省、全国の公立小中学校の耐震化率

を公表。つり天井の対応は、県は516棟中、落下防止対策済みは7棟。

4日 県の児童相談センターによる2013年度の児童虐待相談対応件数は、前年度から35.5%増の2344件に上り、過去最多。(中日)

6日 第1回県立高等学校将来ビジョン検討会議開催。

6日 椋山女学園大学は2月に実施した一般入試で採点ミスがあったと発表。

10日 豊橋市立小中学校のPTAや校長会などが携帯電話やスマートフォンなどの利用ガイドを作成。(毎日)

11日 徳川美術館の女性職員が、管理部長からセクハラ、パワハラを受けたとして損害賠償の支払いを求める労働審判を申し立てた。

11日 県立南陽高校と楽天は「楽天IT学校」を同校で開くと発表。

12日 県警、県立長久手高校の教諭を児童買春・児童ポルノ禁止法違反で逮捕。

17日 名古屋市立大学と名古屋市教委は、連携協力に関する協定書を締結。

17日 一宮署と一宮市教委は「学校警察連携制度」に関する協定を調印。

25日 名古屋市教委、住民票が市内にあるのに居住実態が把握できない18歳未満の子どもが88人いると公表。

◆7月

1日 三河地方の小中学校で、いじめられている同級生をかばおうとした女子児童が別の同級生から暴行を受け、けがを負っていたことが分かった。(中日)

1日 岡崎市教委、市立矢作中学校の体育館で、ライトが落ち、生徒がけがをしたと発表。

2日 私立名城大学付属高校、教諭が結核にかかり他の生徒にも感染したと発表。

2日 名古屋市立昭和橋中学校で、2年の男子生

徒が水泳の授業でプールに飛び込み、首の骨を折る大けがを負った。

5日 自閉症や知的障害、発達障害の小中校生が放課後の時間帯に通う施設「ポッカラボット」が5月、長久手市が洞に開所した。(中日)

7日 「河村市長『南京虐殺否定』発言を撤回させる会」、市長に発言を撤回することを求める要請書を提出。

8日 県教委、公立高校全日制一般入試での各校の合格者決定方法を発表。

11日 豊田市の藤岡地区で小バエが大発生し、市立藤岡給食センターが調理を中止する事態に。(中日)

11日 県立丹羽高校の教員が、ツイッターに生徒や校内の様子を書き込んでいたことが分かった。(中日)

14日 小牧市立応時中学校の期末試験で、社会科担当の教諭が1学級分の答案を誤ってシュレッターにかけていたことが分かった。

15日 半田署と管内の1市5町の教委、「学校警察連携制度」の協定を締結。

20日 第2回県立高等学校将来ビジョン検討会議開催。

20日 春日井市教委、今年度から専任の就学支援員3人を市教育研究所に配置し、相談を行っている。(中日)

25日 半田市岩滑地区の住民有志が、地域ぐるみで子どもたちの教育を支援する「岩滑小応援隊」を結成する。(中日)

25日 稲沢署と稲沢市教委、「学校警察連携制度」の協定を調印。(中日)

31日 県警、野球部員を練習中に殴り、重傷を負わせたとして私立豊田大谷高校の野球部監督を逮捕。

◆8月

2日 「なごや子ども市議会」が開かれ、「い

じめゼロ 笑顔いっぱい宣言」を発表。

4日 県警、中学生から現金を脅し取ったとして高浜市内などの16~18歳の少年3人を逮捕。総額数百万円を脅し取ったとみられる。(中日)

4日 一宮市立中学校の男性教諭が酒気帯び運転で物損事故を起こしていたことが分かった。(中日)

7日 中村署、少女にみだらな行為をしたとして名古屋市立中学の非常勤講師を逮捕。

11日 知立市、12月市議会に提案する市教委の候補者の一人を市民から公募すると発表。

13日 県美術館で開催中の写真展で、男性の裸体を写した写真について、県警が対処を求め、同館は作品の一部を半透明の布で覆うなどした。

19日 豊田署、豊田市教委、みよし市教委と学校警察連携制度に関する協定を調印。

20日 名古屋地検岡崎支部、野球部員を殴り逮捕された私立豊田大谷高校の元野球部監督を暴行罪で起訴。

20日 刈谷市の小学6年生の女子児童が自宅で死亡。自殺とみられる。

25日 県教委、全国学力テストの結果を公表。小学6年の国語Bが全国最下位。

25日 県教委、教員採用試験の第2次試験で出題ミスがあったと発表。

25日 岡崎署と岡崎市教委・幸田町教委との間で学校警察連携制度に関する協定を調印。

26日 中川署、売春仲介疑いで小学校教諭を逮捕。

26日 名古屋市、潜在的な待機児童を2018年4月までに解消する方針を市議会に伝えた。

26日 小牧市、市立図書館の運営を「TSUTAYA」を展開するカルチュア・コンビニエンス・クラブに委託することを発表。

27日 名古屋市、2015年度から弁護士2人を採用し、児童相談所に配置する方針を固めた。(中

日)

27日 豊明市、市内在住の大学生に入学金を支給する予算案を提出。→10月11日、否決。

27日 いじめの後遺症で高校2年生の娘が自殺した遺族が、名古屋市長と面会し、私学に対する県の対応などを説明。

29日 名古屋市港区の「港楽小学校トワイライトスクール」で元小学校長の職員が利用者の小学生に暴力を振るっていたことが分かった。(中日)

30日 野田塾、タブレット3000台を中学1年の生徒全員に無料配布する。(日経)

31日 小牧市、一流選手が講師をつとめる「夢の教室」事業を、当初予定の3校を変更し、小学校全16校で開くことを決めた。

31日 病気の子や治りかけの子を、子育て経験があるファミリーサポートセンター会員が預かる全国初の公的施設「おひさま」が10月1日、公立陶生病院横の瀬戸市小金町にオープンする。(中日)

31日 安城市の中学2年生の女子生徒が自宅マンションから飛び降り死亡。

◆9月

1日 豊橋市、子育て支援に力を入れている企業を「子育て応援企業」に認定し、市のホームページや広報誌で紹介する事業を始めた。

1日 理容師と美容師を養成する専門学校が、国家試験を受けるための必修科目の授業を無資格教員に担当させたとして行政指導を受けた。

3日 県、2013年度「あいちの教育に関するアクションプラン2」の実施状況を取りまとめる。

3日 県、「愛知県いじめ防止基本方針」を策定。

3日 瀬戸市教委、学校新設も含めた地域ごとの小中学校の配置や規模の見直しを検討することを明らかにした。

3日 田原市の小中学校再編計画で、伊良湖、堀切、和地の3小学校を統合する準備委員会が開かれ、市側が現在、小学校区ごとにある住民組織と市民館を一つに統合する方針を示した。

6日 県教委、公立高校定時制課程の入学者選抜方法を発表。

6日 蟹江町の町立小学校で、男性教諭が2年生の女子児童を平手打ちしたり、「ばか」と発言していたことが分かった。(中日)

9日 岡崎市、20の全市立中学校に836台のタブレット型情報端末を配り、10月1日から数学・理科・英語の授業に活用すると発表。

18日 県内の小学校で不登校の児童数が前年度より264人増えて1919人(5月1日現在)に上り、1948年以降過去最多となったことが県が公表した2014年度学校基本調査で分かった。(毎日)

19日 名古屋市教委、小中学校の夏休み前後の短縮授業を改め、冷房が完備される2016年度からは午後も授業をする方針を示した。

19日 名古屋音楽大学の学生によるミュージカル公演「STEP!」が岡崎市で開かれた。

19日 名古屋地裁、名古屋女子大学の教組副委員長に対する解雇処分は無効と判決。

26日 名古屋市教委が設置した「いじめ対策検討会議」の初会合開催。

30日 東浦町教委、町立中学の2期制を2015年度から3期制に戻す方針を保護者に通知。

◆10月

3日 県教委、外部メンバーによる有識者会議「学力向上推進委員会」を新設することを明らかにした。

6日 設楽署、設楽町・東栄町・豊根村と学校警察連携制度に関する協定を調印。

7日 名古屋造形大学でアニメーションを学ぶ学生が、県の「愛知ぼぶかる聖地化計画」をPR

するショートアニメ2本を作った。(中日)

8日 県教委、中学3年生を対象とした本年度第1回進路希望状況調査結果を公表。進学希望率は96.5%。同調査を受け、県公立高校設置者会議は計画進学率を93%とし、公私の定員配分比率を2対1と決めた。

8日 名古屋市、学童保育等の質向上のために「名古屋市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例」「名古屋市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例」「名古屋市幼保連携型認定こども園の学級の編制、職員、設備及び運営に関する基準を定める条例」を制定。

9日 名古屋市教委、中区栄にある「市教育館」を移転する方針を市議会で示した。

9日 津島市の日比市長、乳児の一時預かりや病後児保育の利用に使えるクーポン券「子育て応援券」を来年4月から配布すると表明。

9日 春日井市、2015年度からの2年間ですべての市立小中学校の普通教室に空調機を設置する。(朝日)

10日 県教委、新委員長に元三河小中学校長協会会長の岩月慎自氏を選んだ。

15日 体罰をめぐる県教委が2013年4月から14年8月までに、教職員27人(管理監督責任を除く)を処分していた。うち26人は懲戒処分より軽い文書訓告や口頭訓告といった非公表の内部処分だった。県立高校のラグビー部顧問は部員間の平手打ちを命じていたが文書訓告。(中日)

16日 南山学園、デリバティブによる損失を出した問題で証券2社に損害賠償を求める提訴を行う。

17日 県立岩倉高校の校長が、10年以上前に教え子と関係を持ったとして懲戒免職の処分を受けた。

17日 県公立高校PTA連合会と校長会が、生

徒のスマートフォン・携帯電話の利用自粛を促すガイドラインを設けた。(中日)

27日 県立瑞陵高校で、2013年夏、野球部の監督が椅子を投げ、部員にけがを負わせていたことが分かった。

28日 文科省、津波に対する公立学校の浸水状況や安全対策についての調査結果を公表。県の浸水想定校数は151校。121校が対策済み・必要なし。

28日 名古屋市立大学、開学記念日に合わせて「大学憲章」を制定。

30日 河村名古屋市長、市職員の給与を引き上げるよう求めた市人事委員会の勧告を受け入れない方針を表明。

30日 県、第9回教育懇談会を開催。「国の教育改革を受けた愛知の教育のあり方について」議論。

31日 名古屋市、「名古屋市子ども・子育て支援事業計画」を策定。

◆11月

5日 県教委、2015年度の県立高校と県立特別支援学校の生徒募集計画を発表。海翔高校に環境防災コース設置。

7日 県教委、県立高校の男性教員3人を停職6ヶ月の懲戒処分。

7日 同朋高校放送部が、危険ドラッグの恐怖を訴えるラジオドキュメンタリーを制作。(中日)

14日 第3回県立高等学校将来ビジョン検討会議開催。県教委、基本計画の中間案を示した。

15日 学校スポーツ現場での暴力的な指導や死亡事故の防止を呼びかけている「剣太の会」が県スポーツ会館で集会を開催。

26日 第1回愛知県いじめ問題調査委員会開催。

26日 県内の私立高校の運動部で9月、3年生

の男子生徒がほかの男子生徒から暴行を受け重傷を負っていたことが分かった。(中日)

27日 県教委が、生徒にわいせつ行為を行ったとして4月以降に教諭3人を懲戒免職処分としたことを非公表にしていたことが分かった。(朝日)

27日 刈谷署と刈谷市教委、児童生徒の非行や犯罪防止で連携する協定を結んだ。

29日 県教委、新体力テストの結果を公表。小学男子は全国最下位。

◆12月

4日 大村県知事、県議会で瀬戸市に知的障害児が通う特別支援学校を設置する方針を明らかにした。

9日 名古屋市、次期「子どもに関する総合計画」(案)のパブリックコメントを開始。

9日 東京にある三河地方出身者のための学生寮「三河郷友会学生会館」が初めて女子に門戸を開き、女子寮を新設。(中日)

18日 名古屋市の課長級任期付き職員の公募で、公募実施前に河村市長が個別に採用したい意向を市幹部に伝えていたことが分かった。(中日)

18日 県教委、わいせつ行為と酒気帯び運転をした教諭2人を懲戒免職処分とした。

19日 田原市教委、児童・生徒数の減少に伴い、2024年度までに、市立小中学校を現在の27校から15校に統廃合すると発表。

22日 愛教大と教材開発会社「NTTラーニングシステムズ」が情報通信技術を活用した授業を共同研究する協定を結んだ。

24日 新城市、教育の中立性、普遍性を掲げる「市教育憲章」を、2015年度に制定する考えを明らかにした。

24日 県私立学校審議会、東邦高校の商業科について2015年4月に入学する生徒から廃止する

ことなどを認める答申。

*本動向作成にあたっては、中日新聞、朝日新聞、毎日新聞など教育関係記事(いずれも名古屋版)および中日新聞プラス(インターネット版)の愛知県の県内版記事並びに愛知県教委、名古屋市教委の発表資料を基礎資料とした。項目により発生月日が確定できなかったものについては新聞掲載月日で示し、掲載紙名を括弧内に記した。

(名古屋造形大学)

